区分33	専門分野 病理学的検査	授業科目名	病理検査学	単位数	1単位 （16時間）
開講時期	3年　後期	担当教員	小島　真代	担当教員の実務経験	(有)・無

◆実務経験の内容

臨床検査技師の資格取得後、民間病院にて生理検査(超音波検査・心電図など)および検体検査業務(生化学・免疫検査など)を担当し、医療現場で求められる基礎的な臨床検査業務を幅広く経験した。その後、国立病院機構にて病理検査業務に従事し、組織標本作製、特殊染色、免疫組織化学染色、細胞診検体の処理およびスクリーニング、術中迅速診断など病理検査室の実務全般を経験してきた。これまでの臨床経験と細胞検査士としての専門性を基盤として、学生が資格取得後に医療現場で活躍できるよう、実務経験に基づいた病理検査学の教育活動に取り組んでいく。

◆授業の目的・目標

・国家試験の病理分野で頻出となる基礎概念を理解する。
・組織学的特徴、細胞像の代表的所見を説明できる。
・HE染色、特殊染色、免疫組織化学染色の原理と用途を理解する。
・過去問題を通して、出題傾向を把握し正答率を向上させる。
・国家試験本番で病理分野の得点を安定して確保できる。

◆授業の概要・授業方針

・臨床検査技師国家試験における病理検査分野の出題範囲を体系的に整理し、重要ポイントの理解と確実な得点力の向上を目的とする。
・病理検査学総論、病理検査学各論の頻出事項を中心に、過去問題の分析と演習を通して国家試験合格に必要な知識を効率的に身につける。

◆テキスト・参考資料等

最新臨床検査学講座（医歯薬出版株式会社）*病理学/病理検査学
染色法のすべて（医歯薬出版株式会社）
細胞診を学ぶ人のために（医学書院）

◆成績評価の方法

出席状況・卒業認定試験

授業計画		チェック欄
第1回	国試対策　＊病理組織標本作製の手順（固定～薄切）、凍結切片標本作製	
第2回	国試対策　＊病理組織標本作製の手順（固定～薄切）、凍結切片標本作製	
第3回	国試対策　＊一般染色	
第4回	国試対策　＊特殊染色	
第5回	国試対策　＊免疫組織化学染色、その他	
第6回	国試対策　＊電子顕微鏡、病理解剖、病理検査業務の管理	
第7回	国試対策　＊細胞診	
第8回	国試対策　＊まとめ	